

女子野球W杯史上初V3

道産子2選手道知事から表彰

志村主将、金内野手

8月の女子野球W杯(カナダ・エドモントン)で史上初の3連覇を達成した日本代表の志村亜貴子外野手(29=アサヒトラスト)と金由起子内野手(35=ホーネッツレディーズ)が22日、高橋はるみ北海道知事から「榮譽をたたえて」を贈呈された。代表チームの主将を務めた志村は「素晴らしい賞をいただき、感謝しています」と喜び、打撃賞に輝いた金は「女子野球の底辺拡大につながればうれしい。4連覇も目指したい」と話した。志村は広尾町、金は天塩町出身で道内女子硬式野球チーム・ホーネッツレディーズの誕生から関わった。現在、東京・荒川区で中学教諭の志村は、男子野球部の監督を務めながら関東リーグのアサヒトラストでプレーしている。



「榮譽をたたえて」を受賞した金(左から2人目)と志村(同3人目)、左端は喜多議長、右端は高橋知事